

臨床研究に関する情報公開

【研究課題名】

感染症に伴う播種性血管内凝固症候群における遺伝子組換えトロンボモデュリンアルファ製剤の治療評価

【研究責任者(職名)】

菅野 雄太 (薬剤師)

【所属】

市立釧路総合病院 薬剤部

【研究デザイン】

単施設後ろ向き観察研究

【共同研究機関】

北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター臨床薬学大講座臨床薬学教育部門

【調査対象期間】

2014年4月～2024年3月

【研究目的と意義】

遺伝子組換えトロンボモデュリンアルファ製剤 (recombinant thrombomodulin: rTM、商品名：リコモジュリン®点滴静注用 12800) は、2008年に、播種性血管内凝固症候群 (disseminated intravascular coagulation: DIC) の治療薬として、わが国で承認されています。特に、感染症に伴うDIC (感染性DIC) に使用されることが多い治療薬です。しかし、感染性DICに対するrTMの有効性に関する報告は限定的であり、実臨床に即した治療を実施するためには、rTMの治療効果を詳細に検討することが重要と考えています。現在、感染性DICに対するrTMの治療効果に関する臨床因子は明らかになっていませんので、感染性DICを対象として、rTMの治療効果に影響を与える因子を把握することを目的に研究を行います。

【対象となる患者さん】

2014年4月1日から、2024年3月の間に、感染性DICに対してrTMが投与された方を対象とします。

【利用する情報】

年齢、身長、体重、基礎疾患、検査結果 (血液検査)、感染症関連 (感染部位、起炎菌など)、DICに関する項目 (DIC離脱率など) など。

※診療録から収集したデータについては患者個人を特定できないように連結不可能な状態で管理します。

【研究方法】

北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター臨床薬学大講座臨床薬学教育部門と共同で、rTMの治療効果についてデータ解析を行います。

【問い合わせ先】

研究代表者

氏名：菅野雄太 住所：釧路市春湖台 1-12 電話：0154-41-6121 (内線：2010)